

2018年4月23日

いすゞ、新規開発「軽量トラック」を新興国市場に投入

-インドネシアから販売開始-

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：片山正則、以下「いすゞ」)は、インドネシアにおいてキャブオーバー型軽量トラック(GVW 3.0t)「TRAGA」(インドネシア向けペットネーム)を新規投入し、4月23日より発売を開始しました。

いすゞは、世界各国のお客様のニーズにあった商品・サービスを提供するため、グローバルものづくり体制の構築を進めてまいりました。今回発売する「TRAGA」は、日本と新興国向けトラック開発統括会社である Isuzu Global CV Engineering Center(IGCE)が共同で開発を進め、インドネシアの生産拠点である P.T. Isuzu Astra Motor Indonesia(IAMI)で製造する、新興国向け戦略商品です。

「TRAGA」は、いすゞが新たに開発した本格軽量トラックとなり、ピックアップトラック「D-MAX」をベースにいすゞが培ってきた商用車の技術を採用し、「積載効率」、「小回り性」、「省燃費」の最大化を図り、お客様の利便性を追求しました。

インドネシアは世界の商用車市場の中でも特に市場規模が大きく、中長期的にも大きな成長が見込まれており、中でも GVW3.0 t の市場が伸張しております。まずは、インドネシア市場に参入し、順次他新興国への展開を検討していきます。

いすゞは、今後もこれまでに構築したグローバル拠点を活用し、世界各市場への最適商品の提供を進めてまいります。



「新型 TRAGA の特徴」

1. 開発の狙い	：	新興国で伸張する軽量キャブオーバー型トラックセグメント(GVW2.5～3.0t)を着実に取り込み、商品ラインナップの拡充を図ると共に、商用車事業を支えるエントリーカーとして位置づける。
2. 車型構成	：	キャブシャシ、平ボディ付きの2車種を展開
3. エンジン	：	4JA1(80PS/19.5kgm)
4. 寸法	：	全長 4,520mm × 全幅 1,705mm
5. 主な特長	：	最新解析技術を駆使した、本セグメントの使い勝手に最適な、新規開発の強靱かつ軽量の構造のキャブ(N シリーズをベース)、フレーム(D-MAX をベース)を採用。 他車種で実績があり、市場で高い耐久信頼性を得ている4JA1 エンジン、MUA トランスミッションを搭載。

(参考)

生産会社概要

社名	いすゞアストラモーターインドネシア (IAMI) P.T. Isuzu Astra Motor Indonesia
所在地	インドネシア ジャカルタ
設立	2008 年
資本金	約 85 億円
出資比率	いすゞ 50%、アストラグループ 50%
事業内容	AUV・商用車の組立、販売
生産実績	17 千台(2016 年)

開発会社概要

社名	いすゞ・グローバル・CV エンジニアリング・センター (IGCE) Isuzu Global CV Engineering Center Co., Ltd
所在地	泰国 バンコク
設立	2014 年 1 月
資本金	約 3.5 億円
出資比率	いすゞアジア 100%
事業内容	新興国向け CV 車両及びその関連部品を含む新製品の商品企画・開発

以上